

添付資料1. 事業内容、事業の効果に関する写真



教室建設を予定しているランバイ小学校(ハザン省シンマン郡)。住民が建設した土造りの教室は窓が小さく、薄暗い。1つしかない教室を竹の柵で区切り、1・2年生が同時に学んでいる



教室建設を予定しているマンム小学校(クアンガイ省バトウ郡)。現在の教室は老朽化し、壁の一部が剥がれ落ちている。子どもたちは、学習教材をほとんど持っていない



学校から帰宅途中の子どもたち(ハザン省シンマン郡)。険しい山道を1時間以上歩いて通う子どももいる。雨季は特に危険で、欠席率が高くなる。「新しい教室が完成すれば家から近くなるため、子どもの通学負担が減る」と教員は期待を寄せる



教室建設を予定しているバローク小学校(クアンビン省ミンホア郡)。トタン板でできた教室は暑く、午後は授業に集中することが困難なほど。教室が完成して、子どもたちの学習環境が整うことで、学習効率が向上することが期待される



ナムザン小学校の教室建設予定地(ハザン省シンマン郡)。本事業での支援決定を受け、住民200人が8日間無償で働き、簡易な道具で山を切り開いた。さらに、資材を運ぶトラックが通れるように、道路も拡張した



マンム小学校の教室建設の様子(クアンガイ省バトゥ郡)。2013年5月は雨が続き、資材の乾燥や建設作業に支障が出ているが、スケジュールから遅れることなく建設が進んでいる。7月上旬までには、新しい教室が完成する予定



2013年1月に実施した、プロジェクト導入ワークショップ(ハノイ)。対象地域の教員や政府職員が参加した。各地域の問題分析、プロジェクトの目標確認、年間スケジュール設定などを実施



2013年3月に実施した児童参加型授業に関する教師トレーニングで、児童にとって快適な学習環境について発表する参加教員(クアンガイ省)。トレーニングでは、授業計画づくり、教室レイアウト作成などを、実践を交えながら学んだ



児童参加型授業に関する教師トレーニングに教員2人が参加した、チオンホア1小学校の算数の授業(クアンビン省ミンホア郡)。児童が参加しやすい机の配置やグループ学習の導入など、授業のスタイルに変化が表れ始めている



2013年4月に実施した、教師の学びあいに関する教師トレーニング(ハノイ)。トレーニングでは、授業の記録方法やビデオ撮影などを学び、ハノイ市内の小学校で授業観察を行った